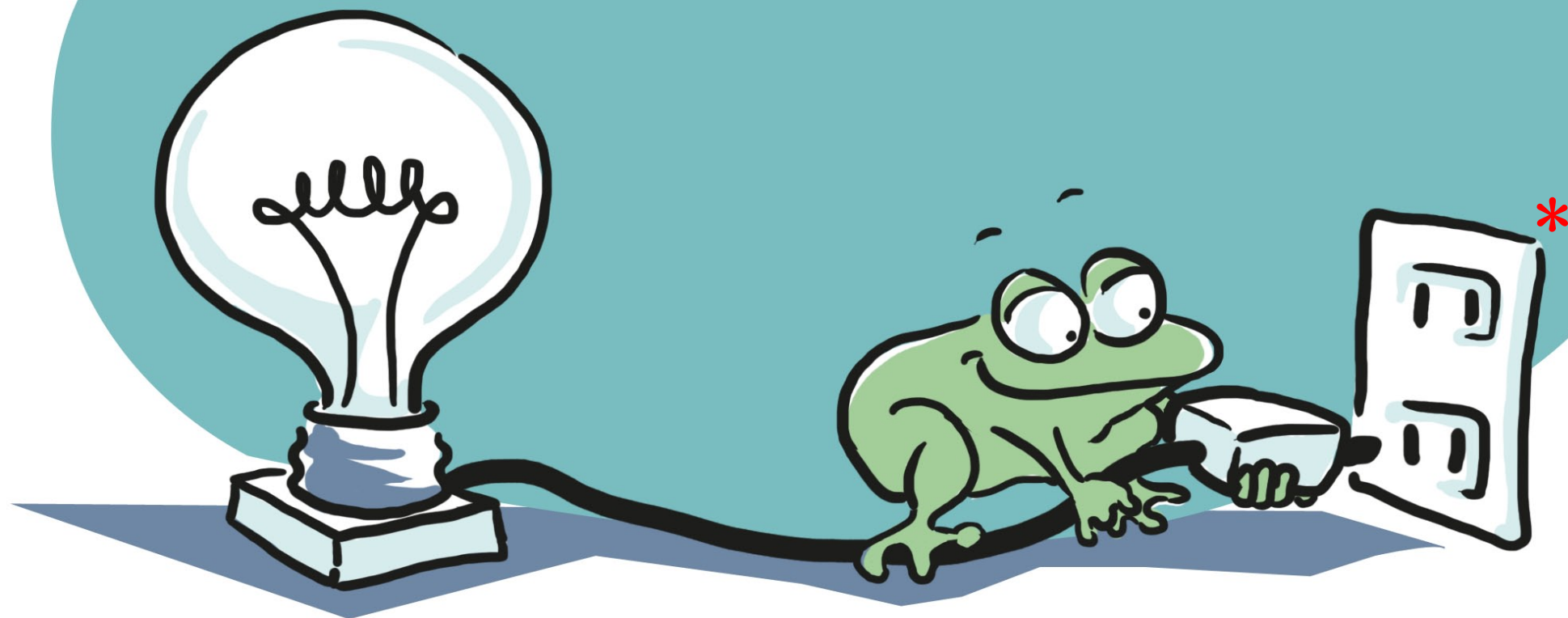


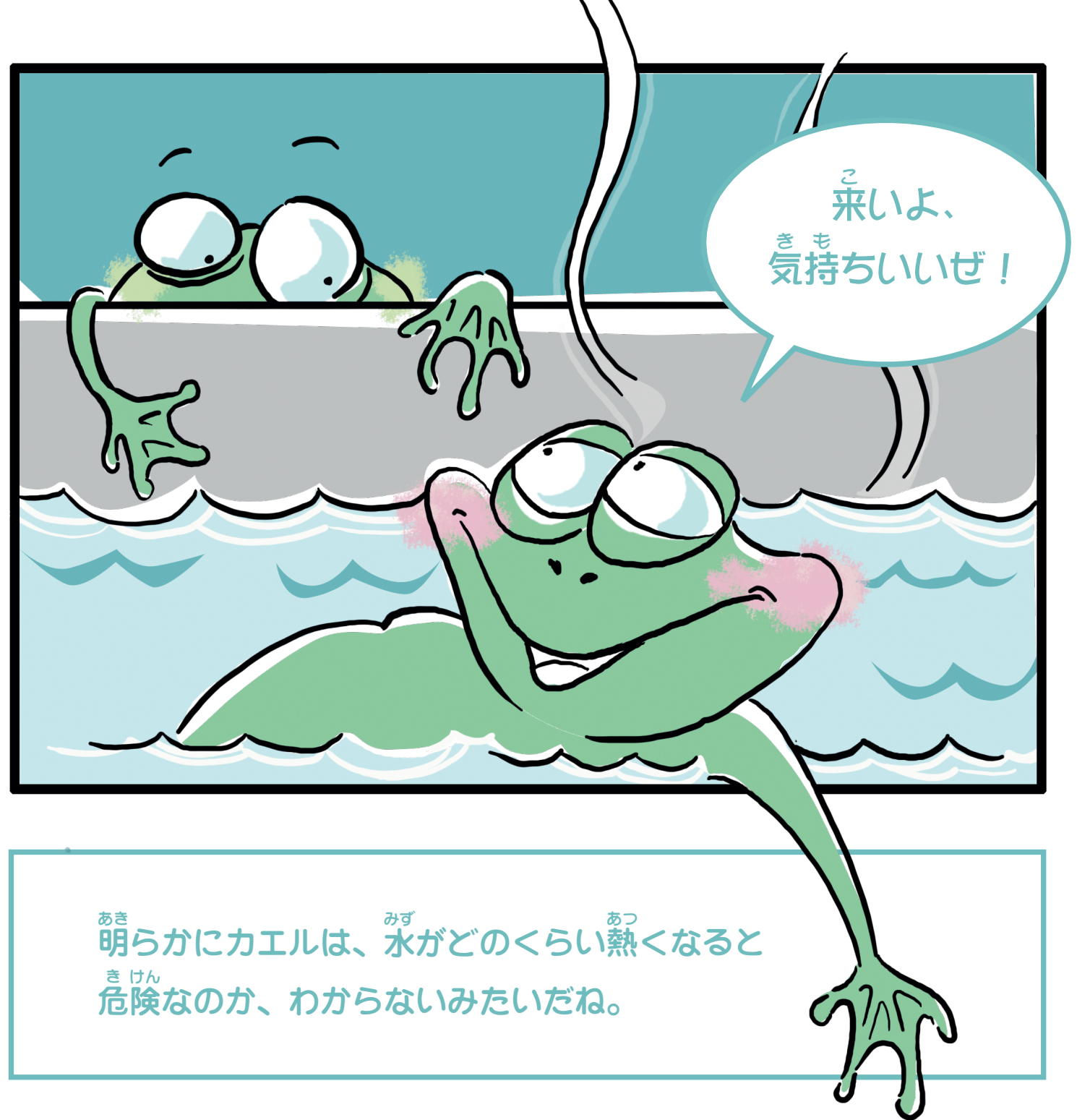
つながっていよう



*注意書き：もし君がペットのカエルを飼っていたら、監督なしに電気製品を使わせちゃダメだよ。

・・・っていうより、絶対^{ぜっ たい}に使わせちゃダメだよ。

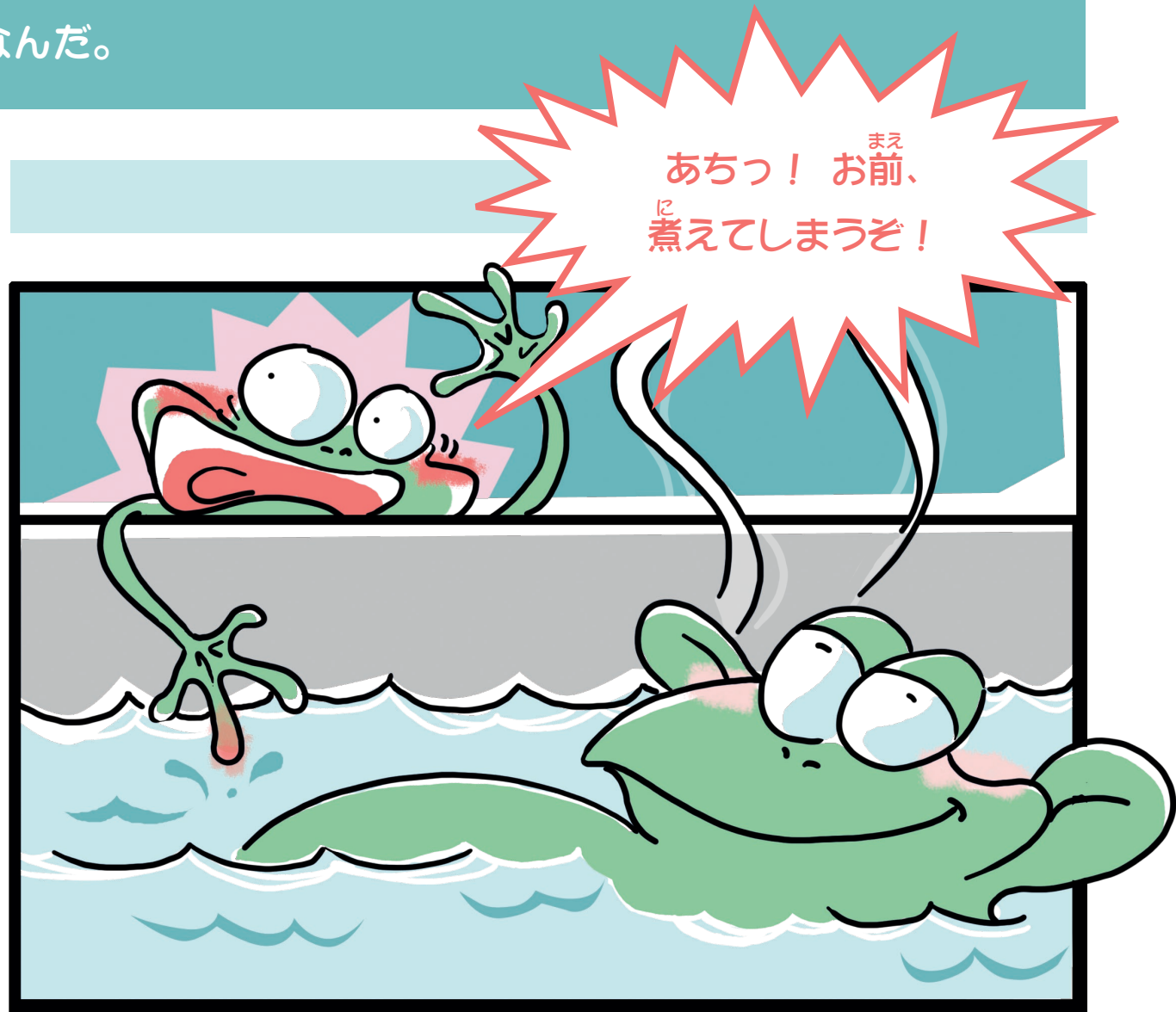
カエルは、いきなり
あつ 熱いお湯に入れると
と 飛び出すけれど、
みず 水に入れて少しずつ
ねっ 熱していくと、みず 水が
だんだんあつ 熱くなって
いくのにき 気づかず、
に 煮えてしまうと
い 言われている。

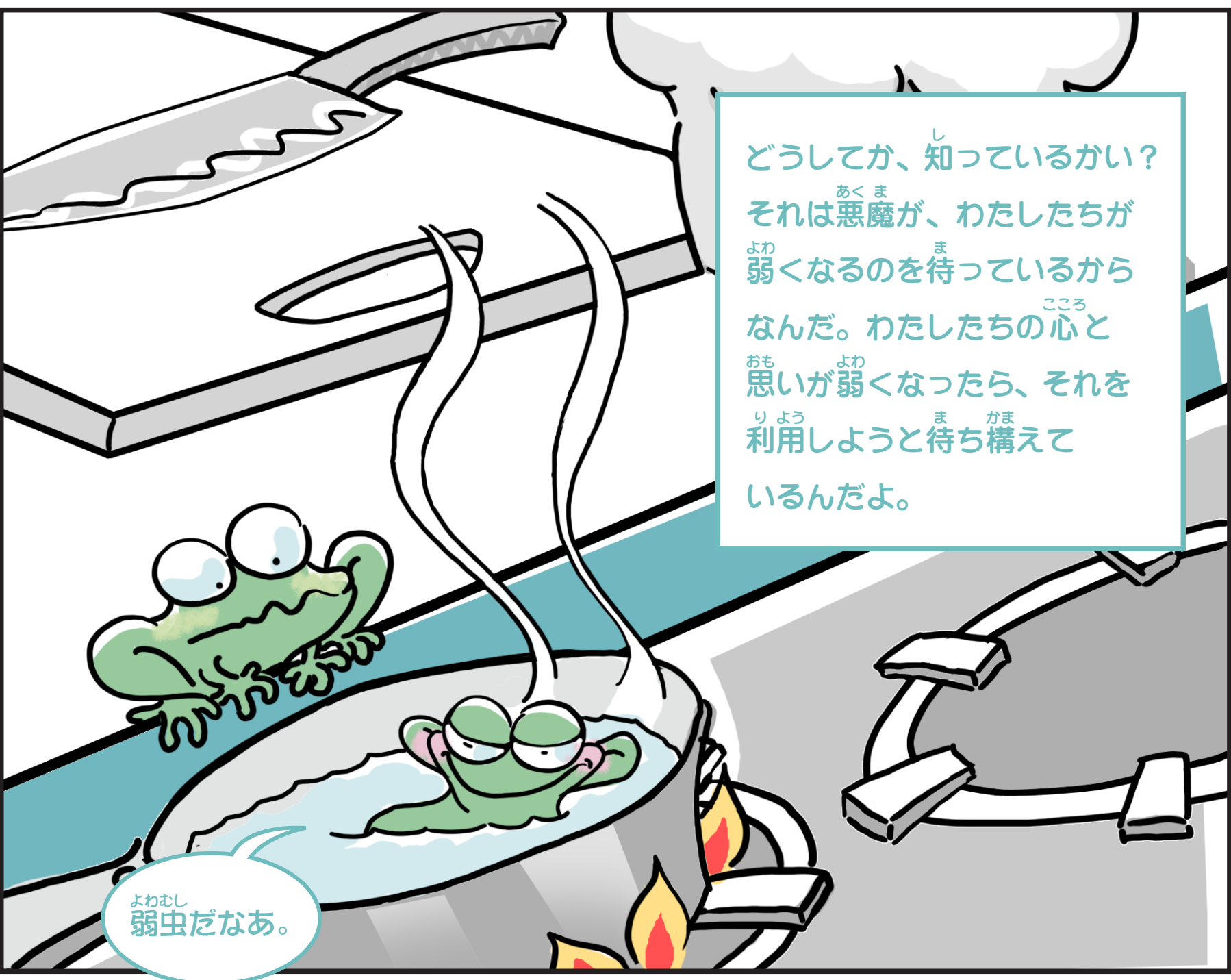


あき 明らかにカエルは、みず 水がどのくらいあつ 熱になると
き けん 危険なのか、わからないみたいだね。

クリスチャンの生活も、同じなんだよ。誘惑がみにくい頭をもたげても、ほとんどの人は危険がひそんでいることに気づかず、身を引くこともしない。だけど、わたしたちの決意をむしばみ、神様から引きはなし、霊的な生活に最大の害を与えるのはふつう、わたしたちが許してしまう、ちょっとした誘惑なんだ。

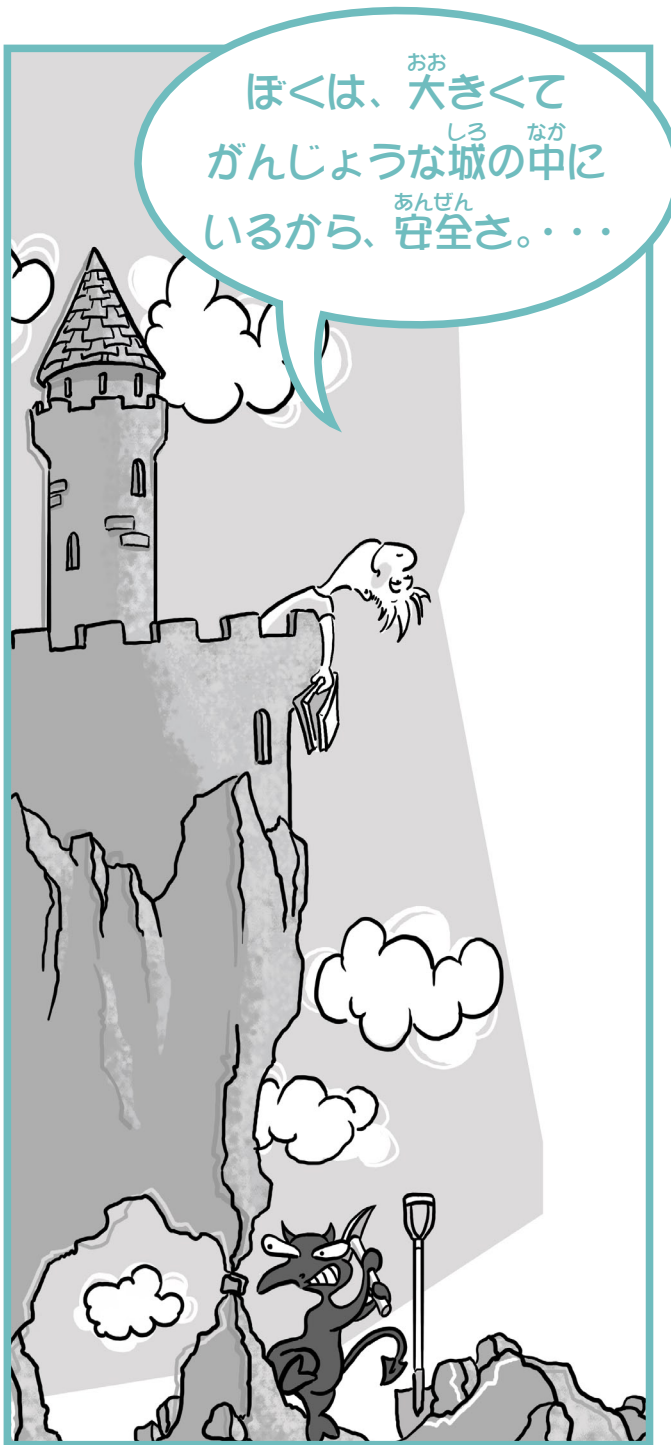
神様の言葉を讀む時、心が深く養われることから気をそらすような、誘惑やじゃまが入ることがあるよね。そして、神様や御言葉とのつながりがなくても、1日や1人の人生に大した影響はないように思える。万事順調で、おそらくはイエス様とつながったり、御言葉を勉強するのはそれほど大切ではないんじゃないかと考え始めるかもしれない。





どうしてか、^し知っているかい？
それは^{あくま}悪魔が、わたしたちが
^{よわ}弱くなるのを^ま待っているから
なんだ。わたしたちの^{こころ}心と
^{おも}思いが^{よわ}弱くなったら、それを
^{りよう}利用しようと^ま待ち^{かま}構えて
いるんだよ。

^{よわむし}
弱虫だなあ。



ぼくは、大きくて
がんじょうな城の中に
いるから、安全さ。...

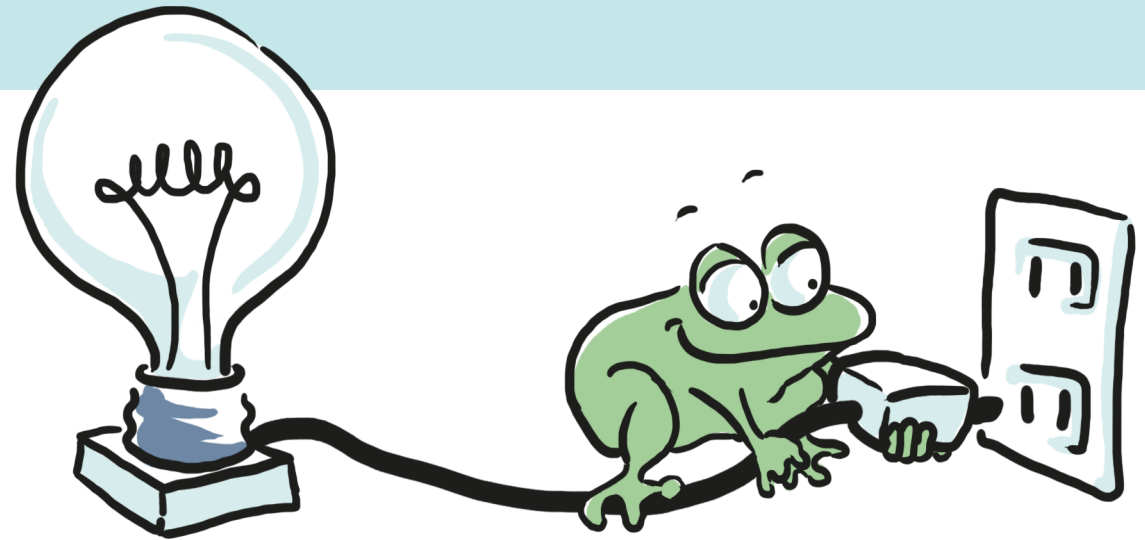
使徒ペテロは、ペテロの第1の手紙5:8の中で、こう書いている。
「身をつつしみ、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、
ほえたけるししののように、食いつくすべきものを求めて歩き回って
いる。」悪魔は、すぐに問題を起こすわけじゃない。御言葉の勉強を
し損なったからって大したことはないとか、別に何も悪いことは
起こってないと、わたしたちが思い始めるのを待っているかも
しれないんだ。わたしたちが霊的に非常に弱くなるのをねらって、
その時に、おそれや絶望感やその他の問題で攻撃しようとしているの
かもしれない。

イエス様に従う者として、わたしたちは、神の言葉を勉強しないで
あまり長くやっていくことはできない。最初は、それが悪い影響を
与えているようには見えなくてもね。神の言葉はわたしたちを活気づけ、
わたしたちの信仰を増してくれる。わたしたちは御言葉を通して、
神が示される多くのすばらしい真理を理解する。御言葉は、神に従う
わたしたちのための神の御計画を知る手がかりになる。神の言葉を
学ぶために費やす時間は、優先する価値があるんだよ。それが
むずかしい時でもね。だって、それこそが、わたしたちの心を強めて
くれるものだからだよ。

わたしはあなたにむかって^{つみ}罪を
^{おか}犯すことのないように、^{こころ}心のうちに
^{ことば}み言葉をたくわえました！
^{しへん}(詩篇 119:11、^{こうごやくせいしよ}口語訳聖書)

したがって、^{しんこう}信仰は^き聞くことに
よるのであり、^き聞くことはキリストの
^{ことば}言葉から来るのである。
^{びと}(ローマ人への手紙 10:17、^{てがみ}^{こうごやくせいしよ}口語訳聖書)

^{ひと}人を生かすものは^{れい}霊であって、
^{にく}肉は^{やく}なんの役にも^た立たない。わたしが
あなたがたに話した^{はな}言葉は^{ことば}霊であり、
^{いのち}また命である。
^{ふくいんしよ}(ヨハネの福音書 6:63、^{こうごやくせいしよ}口語訳聖書)



S&S link: Christian Life and Faith: God's Word-2f

寄稿：マリア・フォンティーンとデービッド・バーグの著作物からの改作、
R.A. ワッターソン

絵：松岡陽子 デザイン：ステファン・ミラー

Copyright © 2010 年、ファミリー・インターナショナル
"Stay Connected"--Japanese <http://www.mywonderstudio.com/>